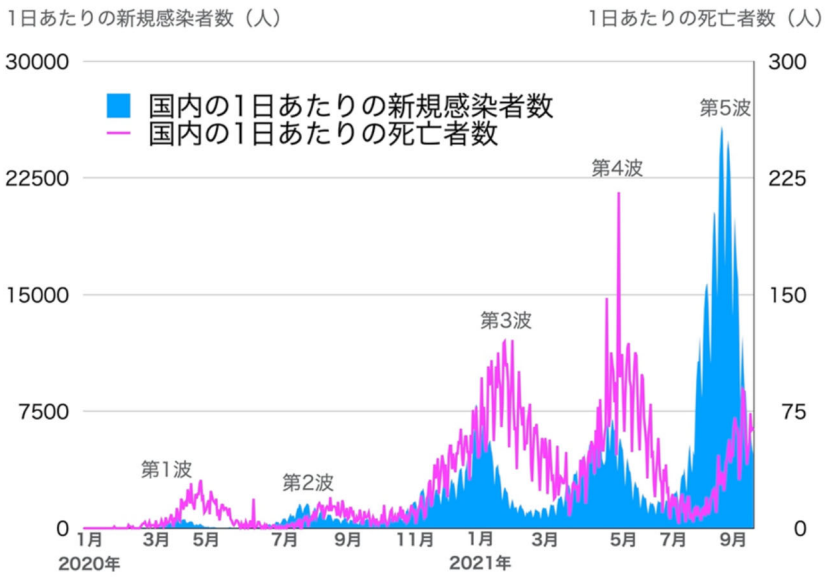
発行：感染制御部
no. 302
2021.9

ICT Monthly

第5波を振り返って



6月下旬頃から始まった新型コロナの第5波は、全国では8月20日に過去最多となる25,868人の新規感染者数を記録し、それ以降は減少に転じました。9月下旬現在も、減少の速度は落ちることなく順調に新規感染者数は減少しています。

それに伴い、全国での新型コロナ入院患者数も過去最多を記録し、一時は20万人を超え、第5波の新型コロナの累計入院患者数は80万人に達しました。大阪府でも新型コロナの入院患者数は過去最多となりました。一方で、府内の重症者数は第4波を超えることなくピークアウトしました。第4波では55,318人の感染者のうち1,757人が重症化しました（重症化率：3.2%）。一方、第5波では（9月6日時点のデータでは）79,189人の感染者のうち683人が重症化しました（重症化率：0.86%）。重症者は遅れて増えますので、第5波の重症化率はもう少し高くなる可能性がありますが、第4波と比べて大きく減少することは間違いなさそうです。

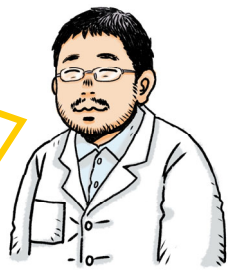
また、第5波では致死率（感染者に占める死亡者の割合）も大きく減少しています。第4波では感染者のうち2.8%の方が亡くなられていましたが、第5波では0.2%と大きく低下しています。第5波では、これまでの流行と比較して高齢者における重症者が大きく減っていますが、これは高齢者での高いワクチン接種率が寄与しているものと考えられます。もちろん致死率が10分の1になっても感染者数が20倍になれば元も子もないわけですが、少しずつ人類は新型コロナに対応できるようになってきているのではないでしょうか。とは言え、気を緩めることなく、引き続き感染対策にご協力よろしくお願い致します。

くつ王に聞いてみよう　その3

Q&A

Q.　第5波も終わったし、そろそろ黙食やめて楽しく話しながら食べたいんだけど・・・

A.　まだまだあきまへんやで！



デルタ株の拡大以降、ワクチン接種を完了しているにもかかわらず新型コロナに感染した医療従事者の事例が国内外で増えています。ワクチン接種による感染予防効果は時間とともに落ちてくることも徐々に分かってきており、ブースター接種の必要性について議論が行われていることはご存知の通りです。緊急事態宣言が終わったからコロナに感染しなくなるわけでもありませんし、病院内でクラスターが発生してしまった場合には影響は甚大となります。

阪大病院職員の皆さまには引き続き感染対策の徹底をお願い致します。